

指導日時：平成28年1月22日（金）第2校時

指導学級：第1学年2組（男子18名、女子22名）

指導者：宮城県石巻西高等学校 教諭 中村 里音

1 題材名 オークストラの魅力に迫ろう！～ラヴェル作曲「ボレロ」より～

2 題材の目標

「音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化について理解を深める。」とする高等学校学習指導要領芸術篇の音楽Iの目標に基づいて、以下の題材の目標を設定した。

(1) 楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取って鑑賞する。〈B 鑑賞 ア〉

(2) オークストラの魅力について音楽を形づくっている要素をもとに考え、言葉で表現することができる。

〈B 鑑賞 イ〉

3 教材 「ボレロ」(ラヴェル作曲)

ラヴェル作曲の「ボレロ」を教材に選んだ理由としては、オーケストラそのものの表現の豊かさや迫力、また楽器の音色の魅力を感じるのにふさわしいと考えたからである。この楽曲の一番の魅力としては、リズムやメロディーが繰り返され冒頭からフィナーレまでの15分間一定であるということである。リズムは4分の3拍子の2小節とどこかスペインを思わせるようなエキゾチックなハ長調の2つの旋律によって構成されている。「管弦楽の魔術師」とまで言われたラヴェルは、オーケストラ楽器の魅力を最大限に引き出すためにリズムや旋律はあえてシンプルに作曲している。オーケストラ楽器そのものの豊かな音色や楽器の組み合わせによる曲想の変化を明瞭に感じ取ることのできる楽曲である。

4 指導にあたって

(1) 生徒の実態

1年2組は、歌唱、器楽、創作、鑑賞いずれの分野においても主体的にかつ楽しみながら授業に参加している生徒が多い。また、最近はワークシートの記入についても音楽を形づくっている要素を使って記述できる生徒も少しずつ増えてきている。

本授業に先立って鑑賞についてのアンケートを行った。

[質問内容]

問1 音楽の授業での鑑賞の授業は好きですか？

問2 音楽を聴いて感じ取ったことを言葉や文章で表すことは得意ですか？

[アンケート結果]

問1 音楽の授業での鑑賞の授業は好きですか？

はい 35人

いいえ 5人

〈はいと答えた理由〉

- ・客観的に音楽を聴くことができる。
- ・曲想の変化や音の変化の違いに気づいたりするのが楽しい。
- ・曲の構成にたくさん気づくことができるから。
- ・自分の感性を表すことができるから。
- ・楽器の組合わさってできる音色が好きだから。

〈いいえと答えた理由〉

- ・曲を聴いての感想や気づいたことを書くことが苦手だから。
- ・音楽の良さがわからない。
- ・歌ったり、楽器を演奏することのほうが楽しい。

問2 音楽を聴いて感じ取ったことを言葉や文章で表すことは得意ですか？

はい 10人

いいえ 30人

〈はいと答えた理由〉

- ・自分の意見や考えを周りに伝えたとき、「すごい！」と言ってもらえるのが嬉しいから。
- ・自分の感じとったことをありのままに表せるから。
- ・自分の意見と他の人の意見を比べてみるのが楽しいから。
- ・自分の思っていることをどんどん表現したいから。

〈いいえと答えた理由〉

- ・なかなか思っていることを言葉や文章で表せない。
- ・文章を書くことが苦手だから。
- ・心の中ではわかっているのに、なかなか文章にすることができない。
- ・語彙力がない。
- ・曲の特徴を単純にしかとらえることができない。

以上のアンケート結果からもわかるように、音楽の授業での鑑賞の授業が好きな生徒が40人中35人であり、その多くの理由が曲想の変化や音の変化に気づいたりすることが楽しいというものであった。しかし、鑑賞することが好きでも、自分の感じ取ったことを言葉や文章で表現することに対して苦手意識を持っている生徒が40人中30人もいるがわかる。

(2) 指導について

アンケート結果から、感受したことを表現したいのに文章や言葉に変換することができない生徒がほとんどであることがわかる。その理由として考えられるのが音楽を形づくっている要素についての知識不足にあると考えられる。そのために、音楽を形づくっている要素については、教員がわかりやすく噛み砕いて語句の意味を説明する必要がある。また、「ボレロ」はひたすら反復するリズムや旋律が特徴的だが、その一方で楽器量や強弱の変化が著しく変化する。楽器の音色や重なり、強弱の変化によって繰り返されるリズムや旋律がさらに魅力的に変化していくことを感じ取らせたい。生徒がインプットしたことをアウトプットできるように、楽曲を聴かせる際どの要素に注目すれば良いかを提示し、要素を最小限に絞って鑑賞させたい。

5 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	鑑賞の能力
オーケストラ楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを感じ取って、楽曲を解釈したり、自分にとっての楽曲の価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。

6 題材の指導と評価の計画（全4時間）

時	学習内容	学習活動における具体の評価基準	評価方法
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ・オーケストラの歴史や成り立ちなどの基礎的な知識を学ぶ。 ・「ボレロ」に使われる楽器を用いながら楽器配置図やオーケストラ楽器について学ぶ。 	<p>オーケストラの基礎的な知識について興味をもち、主体的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。（音楽への関心・意欲・態度）</p>	<p>観察 ワークシート</p>
第2時	<ul style="list-style-type: none"> ・作曲家ラヴェルの生涯や近現代の音楽について学ぶ。 ・「ボレロ」の繰り返されるリズムと旋律について学び、楽曲の特徴を感じ取る。 	<p>作曲家ラヴェルについて興味関心をもち、「ボレロ」の楽曲の特徴を感じ取ろうとしている。（鑑賞の能力）</p>	<p>観察 ワークシート</p>
第3時 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ボレロ」をCDで鑑賞し、ワークシートを用いて冒頭・中間・最後における音色・楽器量・強弱の変化をから作曲者の意図や工夫を感じ取る。 	<p>冒頭・中間・最後における音色・楽器量・強弱の変化を感じ取り、ワークシートに記入している。また、話し合い活動において協力し合いながら積極的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。（音楽への関心・意欲・態度）</p>	<p>観察 ワークシート 発言内容</p>
第4時	<ul style="list-style-type: none"> ・楽曲全体をDVDで鑑賞し、これまでの学習の振り返りを行う。自分が考えるオーケストラ音楽の魅力を、言葉で表現する。 	<p>今までの授業の内容を踏まえて、自分なりにオーケストラ音楽の魅力を言葉で表現し、他者に伝えることができる。（鑑賞の能力）</p>	<p>観察 ワークシート 発言内容</p>

7 本時の指導

(1) 本時のねらい

音色・楽器量・強弱の変化から、作曲家ラヴェルの意図や工夫を感じ取る。

(2) 本時の評価規準

評価の観点	具体的評価規準	Aとする具体的な姿	Cの生徒への具体的な手立て
音楽への関心・意欲・態度	感じ取ったことをワークシートに記入し、グループ活動に参加しようとしている。	感じ取ったことを具体的にワークシートに記入し、グループ活動に積極的に参加しようとしている。	聴き取ってほしい事項について、再度説明をする。 グループ活動の際、他の人の意見を聞いて参考にするように促す。

(3) 学習指導上の工夫

- ・前時の振り返りをしっかりと行い、楽曲の特徴を確認する。
- ・楽曲を鑑賞させる前に着目すべき要素をあらかじめ提示し、何を聴き取れば良いのかを理解させてから鑑賞に移るようにする。
- ・グループ活動の際、机間指導を行い生徒の状況を把握し、Cの生徒への声掛けを行う。

(4) 準備物

- ・ワークシート（今までのも含める）
- ・教科書
- ・筆記用具
- ・CD（教員）

(5) 本時の展開

段階	○学習活動	形態	指導上の留意点	評価
導入 (10分)	<p>○あいさつ。</p> <p>○前時の振り返り、楽曲の特徴を確認する。</p> <p>○「ボレロ」のリズムと2つの旋律を確認する。 リズムを手で叩かせる。Aメロ・Bメロ2つの旋律をピアノで確認する。</p> <p>○本時の目標を確認する。</p>	<p>一斉</p> <p>一斉</p> <p>一斉</p> <p>一斉</p>	<p>○前時で学習した、リズム・旋律を思い出させ、「ボレロ」の楽曲の特徴を再確認させる。</p>	
展開 (35分)	<p>○冒頭の第1部、中間の第3部、最後の第5部を鑑賞し、強弱・音色・楽器量がどのように変化しているかを考える。</p> <p>○個人で鑑賞し、ワークシートに記入する。</p> <p>○近くの人と意見交換をする。</p> <p>○もう一度鑑賞する。</p> <p>○ラヴェルがこの曲を通して聴衆に伝えたいことは何かをグループで話し合う。</p> <p>○グループで出た意見を発表する。</p>	<p>一斉</p> <p>個人</p> <p>グループ</p> <p>一斉</p>	<p>○楽曲を鑑賞させる前に着目すべき要素をあらかじめ提示し、何を聴き取れば良いのかを理解させてから鑑賞に移るようにする。</p> <p>○ここで何人かに指名して、発言させる。</p> <p>○グループ活動の際、机間指導を行い生徒の状況を把握し、Cの生徒への声掛けを行う。</p>	<p>【音楽への関心・意欲・態度】 感じ取ったことをワークシートに記入し、グループ活動に参加しようとしている。 (ワークシート・観察・発言内容)</p>
まとめ (5分)	<p>○本時のまとめ。</p> <p>○自己評価を行う。</p> <p>○あいさつ。</p>	<p>一斉</p> <p>個人</p> <p>一斉</p>		